



信州たかやま 議会だより

2012年
1月25日

100号

発行／☎ 382-8510 長野県高山村議会

発行責任者／水谷 清

編集／議会報編集委員会 TEL(026)245-1100



絆を深める

【12月定例会報告】

- 補正予算 P2～P3
- 陳情・意見書 P4
- 一般質問 P5～13
- 100号記念 P14～P15
- わたしの声・編集後記 P16

一般会計補正予算額は 1300万円

平成23年12月定例会は12月9日から16日までの8日間の日程で開催されました。

村から提出された議案は一般会計及び特別会計補正予算5件と専決処分報告及び条例の改正3件、原案どおり可決、陳情1件を採択、議員発議の国保に関する意見書1件を可決しました。
一般質問には9名の議員が登壇し、TPPや村政の課題などについて質問をしました。

一般会計補正予算で
使われる主なもの

・屋外の放射線量を測定するための放射線量測定器購入費。
55万円

・東日本大震災で大きな災害を受けた岩手県大槌町などへ雪かきスコップ2百40本送付他。
49万円

・ソルガムを食品やキノコの培床にするなど、有効に利用するための商品開発研究費用としての環境保全型農業推進補助金。
7百10万円



・蔵温泉ふれあいの湯の男女脱衣場の床張り替え改修費用他。
2百94万円



被災地への支援物資

・年度の初め予定していたよりも出産される方が増えたため、出産育児一時金8人分を国民健康保険特別会計へ繰り出金。
2百19万円



・高山村が保育をお願いしているたかやま保育園以外の保育所に支払う運営委託料。
4百18万円



女子美大生によるそば打ち体験

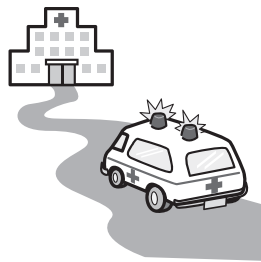
職員給与

0.23パーセント引き下げ

特別会計補正予算で 使われる主なもの

・村民の皆さんが病院などの医療機関にかかった時に村が医療機関に支払う一般被保険者療養給付費の増額分。

3千3百60万円



【上水道費】

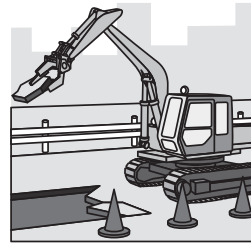
・高山村駐在所新築工事に伴う配水管布設替工事費。

今建設をしている駐在所の下に水道管が通っているため建物に掛からない様に移動するための工事費。

百55万円

・七味温泉にある山田牧場温泉に送るための源泉井戸の管のスケール（温泉のあかにあたるもので成分はカルシウム）を除去するため、1回分の費用。

37万円



・村内には農業集落排水と公共下水道の2種類の下水があります。将来、農業集落排水と公共下水道を一本化するため、下水道計画策定業務委託料。

百35万円

改正した 村の条例の主なもの

・人事院が国家公務員の給与を0.23パーセント引き下げを勧告しました。村も職員の給与を0.23パーセント引き下げる給与条例の一部を改正しました。

・村税条例では、今まで5千円以上の寄付の場合税額控除されていきました。これからは2千円以上の寄付から控除対象となります。また、各種の申告において故意（わざと）に申告書を提出しない場合には、罰則を強化する村税条例の改正がされました。



放射線量測定器を使って測定

陳情

耐震診断・耐震改修に関する陳情書

特定建築物の耐震診断と耐震改修

陳情者
社団法人 長野県建築士
会長 新井典夫
事務所協会
須高支部長 山崎辰男

陳情要旨
特定建築物及び公共建築物の耐震診断と耐震改修について、早期に推進をお願いします。



昭和56年以前に建てられた高山小学校は、耐震改修がすでに行なわれています。

活用し、早期に推進をお願いします。

公共建築物の耐震診断と耐震改修

災害発生時に、避難施設となる学校、けが人の手当てをする病院・診療所、災害弱者が利用する社会福祉施設等は、特に耐震化が必要な建物です。

公共建築物の耐震診断と耐震改修について、国・県の助成金を活用して早期に推進をお願いします。

民生産建常任委員会で審査（全委員賛成）本会議でも全委員賛成で採択しました。

特定建築物とは？

- ① 建築基準法にいう建築物
- ② 特定用途に供される建物：
百貨店・集会場・図書館・学校・旅館等
- ③ 延べ面積3千㎡以上
(学校は 8千㎡以上)

国保の国庫負担金減額調整（ペナルティ）の廃止を求める意見書

提出者 山崎秀治 議員
賛成者 畔上孝一 議員

意見書要旨

子ども医療費無料化で、国は医療費の窓口無料（現物給付方式）を実施している自治体に対して、国庫負担金の減額をしています。

「窓口負担を軽減すると、通常よりも受診が増え給付費が不必要に波及増している」とし、自治体ごとの「波及増」の額を算出し、その分を定率国庫負担から減額していただきます。

親の願いは無料化の年齢拡大とともに、窓口で支払わなくてもよいようにしてほしいということです。
医療費無料化の窓口無料（現物給付方式）へのペナルティは廃止することを強く要望します。

民生産建常任委員会で審査（全委員賛成）本会議でも全委員賛成で可決しました。



（地方議会の会議）

定例会と臨時会

定期的に招集される定例会と臨時に招集される臨時会とがあります。

定例会は、村の条例で年4回、3月・6月・9月・12月に開かれます。

臨時会は、必要のある場合に、特定の事件に限り、これを審議するために招集されます。回数に制限はありません。（定例会・臨時会と分けて）

会議の原則

① 会議公開の原則

会議傍聴の自由、報道の自由、会議録の公開・閲覧の自由があります。

② 定足数の原則

定数の半数以上の議員の出席が必要です。

③ 過半数議決の原則

議会の議事は出席議員の過半数で決められます。可否同数のときは議長が裁決します。（山崎）



内山信行 議員

TPP参加表明と村の農業後継者強化策は

質問 野田首相がTPP交渉参加を表明しましたが、村の将来は心配ないのか。

答弁 (久保田村長) 農業と農村の振興を図り、国際競争に対応できる体制が整備された上で慎重にTPPの参加を検討するべきと考える。現状以上に農産物価格が下がった場合生産意欲が低下し経営を休止する農家が出るのではないかと思われ。

美しい景観や自然環境を守る活動の中で、景観条例の制定や「日本で最も美しい村」



駒場橋

連合へ加盟して取り組んでいくところ、耕作放棄地が増加しては農村景観が守られない。

再質問 今後とも生産者団体やJAとの連携を強化し、基幹産業である農業が持続的に発展出来るような事業を実施していきます。

再質問 後継者の育成をどうするのか。

答弁 村内外問わず、受け入れ支援する。

村内の橋の修繕・改良計画があるのか

質問 県内市町村にある橋

の修繕計画策定済みは27%ですが、村の現状は。

答弁 (藤沢建設水道課長) 村が管理している65橋を対象に、現在「高山村橋梁長寿命化修繕計画」の策定作業を進めています。これからは、「高山村橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、点検による健全度の把握や、日常的な維持管理に加え、橋梁の長寿命化、橋梁の修繕、架け替えに係る費用の縮減を図りつつ、個々の橋梁に対して最も効果的かつ、効果的な修繕を計画的に実施していきます。

再質問 現在2地区から、架け替え要望が出されているが対応は。

答弁 橋は生活の中や経済活動も含め重要なので、計画的に修繕を行っていきます。

高山小・中学校のプール更衣室の室内改善を

質問 高山中学校のプール、更衣室の改良を望む声があるが。

答弁 (山崎教育長) プールは毎年専門業者にメンテナンスをして、消耗部品交換、修繕を行っているので問題はありません。

更衣室は人工芝のマットが水分を含み十分乾かずカビが発生して匂いが発生しているが、天日干しや換気扇で対応します。

再質問 換気扇では効果が少ないのでは。

答弁 換気能力については学校へ確認を取り対応します。



高山中学校プール更衣室



山 嵯 秀 治 議 員

TPP問題に反対行動を

質問 TPP交渉参加をどう受け止めているか、具体的な反対行動求める。

答弁（久保田村長） 国や国会議員、知事に慎重に行うよう働き掛けます。

答弁（山口農業委員長） 国内の農業に影響があるので、上部団体とともに反対する。

再質問 村として、具体的に反対の行動を取るべきではないか。

答弁（久保田村長） 具体的な行動は生産者団体で実施していただいているので、今後

もこの様に連携を取って進めていきたい。

介護事業計画の内容は

質問 第5期介護保険事業計画では保険料は引き上げとなるか。

答弁（小林村民生活課長）

介護保険は3年ごとに見直します。現在1200万円借入れの予定があり、さらにサービス利用者が増加することを見込むと、保険料額の引き上げは避けられないと予想しています。

再質問 特別養護老人ホーム入居待機者をどのように改



TPP問題は一層の論議が求められています。



村内の特別養護老人ホーム

善されるのか。

答弁 現在31人の待機者がいます。入所待ちの方には、入所までショートステイなど、一人ひとりの介護度に合わせたサービスを行っています。

住宅リフォーム助成制度・商品券発行事業は

質問 11月発行の商品券発行金額が少なかったのではないかと。住宅リフォームにも利用できるが補助金額が少ないのではないかと。

答弁（澁谷産業振興課長） 商品券の今年の発行額は、春と合わせて4500万円で経済的に一定の成果はあった。近隣に比して補助額が低いといわれるが、2回発行したので一人100万円利用できる。

再質問 商品券の助成率を多く、また村単独事業としては。

答弁 補助率は商工会と話し合う。単独事業は考えていないので商工会に入ってもらい。

原発事故と自然エネルギー普及を

質問 「原発事故」による放射線量測定結果は、安全な自然エネルギー普及を進めては。

答弁（久保田村長） 最高値は0.135マイクロシーベルトでしたが現在は0.06マイクロシーベルトで安定しています。松川などで小水力発電をめざす。太陽光発電はコストの面で大きな効果はありません。



酒井 康臣 議員

質問 様々な施策を実行された2期目の任期が1年を切った今、村政の総括を。

答弁 (久保田村長) 第5次高山村総合計画を策定したほか、持続可能な自律のため、健全な財政運営景観条例の制定による豊かな自然環境と共生する村づくり、ワインぶどうの振興やリンゴのアイスクリームなど農業・観光・商業の連携による産業振興などに努めてきました。

東日本大震災や、福島原発事故復興、社会保障と税の一

久保田村長

二期目の総括は



スパインコンサート

体改革など、地方財政への影響は避けられない中で、将来を見据えた農業振興や文化施設の検討、観光と連携し、新たなブランドづくりを推進します。

再質問 公民館耐震化と、総合利用は。

答弁 現状維持で利用しますが、遭難待機所など総合的に利用できる施設にします。

再再質問 観光協会と農業者、村との連携を考えては。

答弁 農業と観光は体験型農業と考えるので地元、観光業者と連携を深め、村全体を含める中で考えていきたい。

不妊治療は保険適用外
なので増額を

質問 不妊治療は公的医療保険の適用外です、治療費が高額なので助成増額を。

答弁 (小林村民生活課長) 不妊症は妊娠を望んで2年以上妊娠しない場合をいいます。一般的に話題になる人口受精、体外受精は保険が適用されないため高額になります。が、年々増加しています。

県が指定した医療機関で体外受精及び顕微受精を受けた場合、一回の治療に15万円を、一年に2回を限度に通算5年間助成します。

村では、すべての不妊治療に診療一部負担金と保険適用外医療費の合計額の2分の1の額、年額15万円を補助しています。

なお助成制度の改正は、治療費の実態及び近隣市町村の状況を勘案しながら調査し考えていきます。

再質問 現在村で助成している人は。

答弁 昨年2人、今年1人です。

再再質問 プライバシーを守るために病院と連携しては。

答弁 医師会の理解が必要です。



おてんま支援による草刈



沖田 重男 議員

高齢者家庭（一人暮らし）の安心なゴミ回収と生ゴミ袋の改善は

質問 高齢者や一人暮らしの方、また自宅を回り、戸口でもゴミ回収を。

答弁（小林村民生活課長） 65歳以上の一人暮らしの方は、185人、足腰の不自由な方の皆さんには、ゴミの搬出は訪問ヘルパーや近所、親せきのみなさんによって行われています。



ゴミ回収所

ゴミの搬出にお困りにならないよう、衛生組合長さんと民生委員さんの協力をお願いしています。

現在使用している生ゴミの袋は、薬品をパルプ繊維に添加して水にぬれたとき破れにくい紙製で、容量が25リットルです。

小さなサイズの袋は、使用されている皆さんの意見を聞き調べて考えていきます。

太陽光発電システムの設置と各地域の公会堂の耐震化を

質問 保健福祉総合センターなど公共施設に太陽光発電を設置しては。また各地区の公会堂は耐震化されているのか。

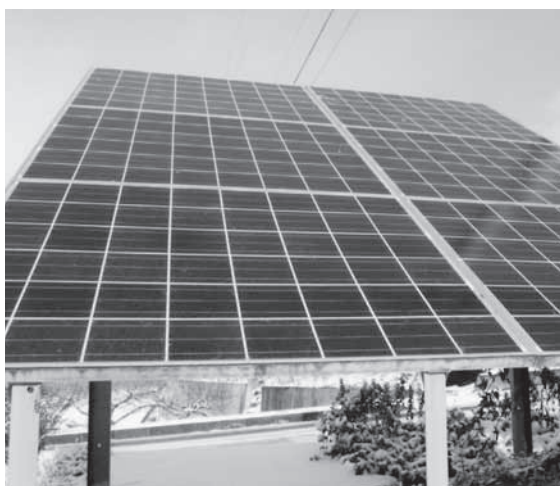
答弁（久保田村長） 東日本大震災や原発事故で国でもエネルギー政策の転換を迫られています。

小・中学校の太陽光発電実績による費用対効果を見ますと、設置後の電気料から売電による収入を差し引いた電料を比較しますと年間で29万

円ほど安くなっていますが、6300万円の事業費の割には投資効果が低い状況です。広い屋根面積では設置費用が高くなって、現段階では村単独事業では困難と考えています。

村では、避難施設の耐震診断を行い、耐震化が必要な避難所は早急に改修工事を行うこととしています。

そこで、各地区の公会堂は地域住民のコミュニケーションを図る上で、重要な施設ですが、現在国や、県の補助制度がありませんので、村単独事業の補助制度を活用していただくことにします。



太陽光発電システム



涌井 仙一郎 議員

地域づくりを推進する
人の充実を

質問 住民参加の住みよい村づくり、文化意識の高揚を求めるための、人材育成と充実を。

答弁 (山崎教育長) 地域づくりに欠かせない企画、運営するリーダーの人材育成は大変重要です。

小学校PTAで実施している、「わくわく村」や公民館で開設した各教室の参加者が自主的に活躍されています。スポーツの生涯学習活動で

は「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」楽しむことが出来る「高山村総合型スポーツクラブ」が設立されました。

高齢化が進む中で、社会の一線を退き健康の保持や職域を離れてボランティア活動の、「道おしえの会」や「古道復活の会」のみなさんに観光ガイド、トレッキングなどに参加いただいています。

世代、性別、国籍を超えた多様な文化・世代間交流を行い、地域の活性化を図っていきます。



建設技術者より現地説明会

再質問 地域の先導的立場にある各委員会・審議会が一度も開かれていない会があります。

委員に任命したからには少なくとも委員会の任務、委員のメンバーを知る必要性があるのに任期が終わります。

これでは委員にふさわしい人材の育成にならない。

答弁 それぞれ内容が無い場合は、開かれないこともあります。



郷土史研究者より史跡案内

ります。

再再質問 審議内容が無いから、開かないではなくて、専門分野での委員会であるので、県や自治体組織で行う研修会に参加していただき、知識を深め、分野での人材の育成と充実になる。

答弁 委員会、審議会は人材育成のための会議ではないので、開かれない場合もあります。



畔上 孝一 議員

老朽化した 消防団詰所は

質問 村内の消防団員数の減少により、詰所の改築補助金が少なくなってしまうため、基準の見直しを。赤色灯の管理はどこでおこなうのか、詰所の耐震化計画はありますか。

答弁（黒岩総務課長）詰所は、消防団の5つの分団に分けられている18の班ごとに、地元の区等により設置されています。

常設消防による高山分署の発足に伴い、団員数の見直しを行っている状況も踏まえ、詰所改築の補助制度を見直し

たいと考えています。

赤色灯は、法律等に設置義務の規定はなく、緊急の施設であることを表示するためのもので、消えている所の分団に、修繕をお願いしました。

耐震化は、公会堂と兼用している施設もあるので、公会堂の耐震化と合わせて検討したい。

再質問 第3分団二ツ石地区は団員12名と少ないので、今の基準では地元負担金が大

答弁 団員数による基準は、華美な施設にならないよう限度を設けたもので、要望の趣旨を踏まえ、基準の見直しを行います。



老朽の激しい詰所

有害獣対策の電気柵は

質問 中山間総合整備事業で高井側、山田側で本格的な電気柵を設置しました。未設置の部分の着工見込みは。

答弁（久保田村長）村では増え続けるクマやサル有害獣から農産物を守るため、山村振興事業や中山間総合整備事業の補助を受けて、これまでに約19キロの整備を図ってきました。村単独事業でも52キロ簡易電柵の設置の補助を行っています。

被害が減少することによって農家の生産意欲が高まり、さらに耕作が出来なかつた農



簡易電柵撤去作業

地など耕作放棄地が減少するなど効果が表れています。

牧地区と福井原地区から設置要望がありますので、事業計画を聞きながら対応をしていきます。

簡易電気柵を本電気柵に移行することは、多額の費用となり村の財政や地元負担など考えますと村単独事業では難しい。

再質問 電気柵に住む人が安心して暮らせるので早期着工してほしい。

答弁 住民の安全を守るために、必要だと思うが、管理など問題点もあるので慎重に考えていきます。



梨本 修造 議員

職員の意欲を高め、専門的知識を高めるための国内留学を

質問 職員の勤労意欲を高め、村民に専門的なサービスを。

答弁 (黒岩副村長) 職場内における階層別研修や一般研修、研修センターの研修や県の実務研修など、職員研修の充実に努めています。意欲ある職員に対しては必要な応援をしたい。

再質問 村の制度はどうか。
答弁 国内研修は毎年2名程度職員を派遣しています。
再再質問 問題意識を持つ



北信総合病院

て派遣しては。
答弁 いろいろな情報を得る中で対応して参りたい。

北信総合病院の負担金は

質問 中野市にある北信総合病院の改築費の負担が決まりました。損益計算上のマイナスは、今後負担とならないか。

答弁 (久保田村長) 今回、市町村が財政支援するのは、再構築事業にたいしてで、以後独立採算で行っていくということの説明を受けている。

「日本で最も美しい村」連合の活動を

質問 積極的な「日本で最も美しい村」連合への取り組みが必要ではないか。

答弁 (黒岩総務課長) 連合に加盟したことによって、貴重な景観や資源を守っていく意識が芽生えました。

再質問 サポーターの派遣は。

答弁 (久保田村長) 歴史的に見ても村民は村を守り育ててきた、語り継いでいくのも重要と思います。特に派遣は必要ない。

観光ガイド講座の結果は

質問 これからは農林部門、観光業者のコラボレーションによる着地型観光です。観光ガイド講座の実績

は。

答弁 (澁谷産業振興課長) 講座は「高山村を学ぶ会」として、7回実施した。研修を受けた方が、「古道復活の会」で活動されていると聞いています。マニュアルは未完了です。

「新規就農

総合支援事業」は

質問 新規就農者の確保と定着を図るために、「新規就農総合支援事業」の活用を。

答弁 (久保田村長) 農業従事者の高齢化や担い手不足が進んでいるなかで、新規就農総合支援事業は大変に良い事業であると思っている。積極的に活用していきたい。



スパイン内の飾り



松本 茂 議員

**新規就農者に生活
支援や効果的な助成
Uターン者の育成を**

質問 農産物の価格競争で収入が不安定の中、新規就農者にさらなる助成の増額を。
答弁 (澁谷産業振興課長) これまでに6名の方が新規就農者として転入されています。

これからの皆さんは、農業後継者の会や生産部会に加入し、農業技術を磨くとともに、大型機械のオペレーターなど兼業農家の支援をして、高山村の農業に大きく貢献されています。

村では、県の農業担い手育



新規就農をめざすみなさん

成基金の助成制度を活用するとともに、高山村独自の「新規就農者支援制度」を設けて、農業技術を習得するための研修に補助をしています。

さらに次年度から行われる国の「新規就農総合支援事業」を補助する形で、村の「新規就農者支援事業」を見直し充実を図っていきたい、就農支度金や、果樹の共済金、農業機械の賃貸料及び住居費などに補助を行っています。

高山村農村振興

基本計画は

質問 新しく県営中山間総

合整備事業を導入されようとしています。振興計画や地権者との話し合いは。

答弁 (久保田村長) 平成15年から22年まで導入された「県営中山間総合整備事業」では、水路や水環境の改良のほか、農道の改良舗装、地力増進施設の発酵レーン増設、有害獣対策として電気柵の整備など総事業費9億7000万円の事業を行いました。

そこで村では再度「県営中山間総合整備事業」を導入し、第5次総合計画に沿っ

て、未舗装の農道や水路をはじめ、農作業が効率よく行える畑地の、ほ場整備など実施するために整備計画の作成中です。

各ブロックから提案された中より、緊急性の度合いや生産性の向上、など総合的に判断して計画に盛り込んでいるところです。

すべての地権者の同意を得ているものではありませんので、ほ場整備の効果や必要性を、農家の要望にもとづいた事業となるよう、進めていきます。



ほ場整備計画が予定されている裏原地区



篠原 尚元 議員

基幹振興品目、 リンゴの振興は

質問 いまや高山村のリンゴは高い市場評価を得ていません。担い手の後継者不足をどうするのか。新しい苗への植え替えは。

答弁（久保田村長）リンゴ栽培には、消費者ニーズに対応した優良品種への、植え替え苗木に係る補助を始め、環境保全型農業の推進や、ブランド化の促進に対する補助を行うなど、長年に渡って、重点施策で取り組んできました。その結果、リンゴにつきま

しては、美味しい果物の産地としての地位を確立してきました。県下でもトップクラスの価格で取引が行われるようになり、高山村産リンゴのブランド化が図られています。

しかしながら、農業従事者の高齢化や農業所得の減少といった厳しい状況にある中で、生産性、量とも年々減少する傾向にあり、ブランド化された村内産リンゴを、将来に渡って量的に確保することができるとは大変心配されます。

これからもJ A及びリンゴ部会と、一層の連携を図って担い手の育成・確保や農産物



新しい化圃場

のブランド化、農業生産の基盤整備、作物別の栽培地の団地化に取り組んでいきます。

再質問 畑地を荒廢地にすると、元に戻すことは大変なので、早めの対応が必要です。

答弁 いかに農地を守ることも大変なのはよく分かります。これからも農業委員を通じて農地の把握をしていきたい。

いずれにしても、優良農地は借りる人もいますが、不便なところをも基盤整備等をして耕作しやすい環境の整備を行っていきます。



好評の直売所

気持ちも新たに村政を

十月から新しい議員による常任委員会が構成されたことから、総務文教常任委員会・民生産建常任委員会に分かれ、役場各課から重点施策の概要と、取り組状況など説明を受け見識を深めました。

総務文教常任委員会

「日本で最も美しい村」連合への取り組み、景観育成寄付金、保育教育の充実、村の健全財政の取り組みや、学習支援員、カウンセラーなど小・中学校教育全般、さらに社会教育の取り組み、などそれぞれ所管から説明を受けました。

民生産建常任委員会

県営中山間事業は平成15年



松川を渡る中山水管橋

から実施され、地力増進施設、電気柵、樋沢、日影、長峰水路、中山水管橋、農道などの工事完了の報告を受けました。

現地視察報告

「中山水管橋」
たら沢川から取水している水管橋が老朽化したために工事を行いました。

この改修により水不足に苦勞していた、中山地区に安定した農業用水の供給が出来る

ようになりました。

「樋沢川水路取水口」

取り入れ施設は高井裏原の上部、樋沢川の谷間に設置されています。旧取り入れ口は、落ち葉などのゴミが入り口をふさぎ又、水路が隧道となっていたため、管理に苦勞したようですが、回収により大きく改善され、下部耕作地に寄与しています。

「マルコメ味噌(株)」

長い間懸案となっていた、日滝原工業団地の高山村地区分譲区画は、マルコメ(株)の進出により完売となり喜ばしい限りです。

大豆発酵食品の味噌は今や世界に広まり、健康志向や、日本食に関心の高い欧米で特

に注目されているようです。

「即席味噌汁」が生産されている高山工場は、工場内に入ったとたん全自動生産ラインが目に見え込んできました。ハイテク化された衛生的な生産ラインは安全で、高品質な製品を生み出しているようです。

さらに、顧客満足度の向上、コンプライアンス(要求に従う)、人材の尊重、高品質への追求、社会への貢献をテーマにCSR(企業の自発的活動)を展開され、まさに味噌というイメージからは想像できないハイレベル工場でした。

直、高山村から十一名が働いています。(酒井)



衛生管理の行き届いたマルコメ(株)高山工場

議会だより

100号になりました

皆様に愛された、議会だよりが、100号になりました。昭和五十七年一月号からちょうど三〇年、委員会報告、一般質問、請願・陳情、などを載せて、皆さんの声援にささえられ発行してきました。

高山村で議会だよりを発刊してから、ちょうど三十年で100号を迎えました。当時の議会の定数は20名で編集委員は5名、全議員の発意によって、編集、印刷費を各自負担の上、定例会（年4回）のたびに発刊されました。

それまでは有志議員が「議

員会報さわやか」を発行していました。

そこで村民とのパイプ役として新たに「議会報高山」として創刊され、名称も「たかやま議会だより」に代わり、そして「信州たかやま議会だより」となり現在に至っています。

数々の賞状

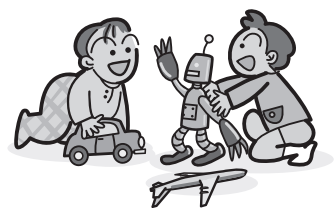


過去の功績たたえます

平成4年には「議会運営の向上に努められ、また福祉を増進した」功績が認められ、全国優良町村議会表彰を受けました。

議会だよりは、平成14年長野県町村議会広報コンクール最優秀賞、平成15年長野県町村議会広報コンクール特別優秀賞、さらに平成16年は第18回町村議会広報全国コンクール入選を果たしました。先輩議員の活躍には頭が下がる思いです。

議会改革も進み一般質問も演壇で一括質問、一括答弁が行われていましたが、現在は



質問席で一問一答方式に変わり、一般質問もより分かりやすく迫力のある質疑が行われています。

今後の取り組み

現在は印刷費などの議員負担はありませんが、編集は議員自ら行っています。

これからも村民福祉の増進や生活環境の整備、さらには農林業などを観光と結びつけ、厳しい財政の中で村当局と議会で協力しながら、安心して暮らせる村づくりを行っていきます。

「信州たかやま議会だより」も創刊された先輩の議員はもとより、続けてこられた議員の皆様の名を汚さないよう、広報の役割や必要性を重視し、読者に何を伝えるか、住民の声をよく聞き充実した広報紙を目指します。

(篠原)

わたしの

声

☆望む処☆



榊形区
小林 邦英

山並みが澄んで落葉焚きの煙が登っている、そんな風情が大好きです。

高山村から見える北アルプスと北信五岳の眺めは日本一美しいといつも感動しています。こんなすばらしい村に今迄たいした災害もなかったことを幸運に思っています。

しかし今年起きた3・11の東日本大震災は自然の脅威を目のあたりに見せつけ日本人をどん底に落としました。人々の心は「たちあがれ日

本」の合言葉と「絆」のもとで少しずつ復興に向っていることを力強く感じています。

さて私は70才近くになった今、よく人生のことを、物語りでもあるし、旅でもあると言われますが、この世に生れ、この娑婆を生きて、あの世に去って行くこと、仏教ではあの世は大きな川があり三途の川の向こうにあるとされています。

いつまでたっても終わりのない旅のように感じられます



— 謡曲 — 文化展より

が、そうであればどんな旅をすべきなのか考えてみることにしました。旨い料理や酒も飲みたいし、海の向こうに行って見たことのない物を見て、いろいろな人達とも出合いたい。そして人生を楽しみたいと思います。

また齢を取って来たので品性のある老人で居たい。品のある人はまず言葉づかいから始まって礼儀正しく穏やかで教養があり、身の回りがいつも清潔感が漂っています。そんな老人を憧れ、そのようでありたいものです。

先見の目あり

安心で安全なまちづくり活動支援配分(助成)金で、赤和区では、防災・緊急対応用品整備を行いました。

隣組同志助け合う精神に基づき、地震・火災などの被害防止又、災害を軽減するために、集落センター、詰所等に電気を確保する目的で、発電機等の救急用品を赤い羽根共同募金に平成22年11月12日に申し込みました。

3月11日の東日本大震災が起き、備品の到着が遅れましたが、このたび全製品が揃いました。

この機会に各区で共同募金会に公募してはどうですか。
(篠原)



ありがとうございました

発電機2台、コードリール30m 2個、延長コード19本、ハロゲンランプ29台、電気ライト11ヶ、脚立1台、無線機6台、吊金具12など総額189,000円をいただきました。

トピックス

100号に携わりまして大変光栄に思います。これからも住民の声を聞き、分かりやすい紙面づくりに新たなメンバーで努めていきます。

この議会だよりに見ていただき、感想など寄せていただければ幸いです。

発行責任者

議長 水谷 清

議会報編集委員会

委員長	篠原 誠
副委員長	内山 信行
委員	沖田 重男
委員	松本 茂
委員	畔上 孝一
委員	山寄 秀治



発行 / 〒382-8510 長野県高山村議会
編集 / 議会報編集委員会
TEL (026) 245-1100
印刷 / 榊オフセット